

「世界の笑顔のために」プロジェクトを通じての 物品のご提供へのお礼

はじめまして。私は青年海外協力隊でマレーシアのサラワク州立図書館に配属されております、
と申します。この度は、「世界の笑顔のために」プロジェクトを通じ、日本文化紹介に役立つ物品をご提供いただきまして大変ありがとうございます。マレーシアではアニメなどを通して日本の文化に興味を持っている人が多く、大人も子どもも何かしらの日本語を知っていることが多いです。日本文化について学ぶクラブをもつ学校もあり、今回ご提供いただいたものは、地域の学校での日本語クラブでの日本文化紹介に役立たせていただきたいと思っております。

提供していただいた物品がどのように活用されるのかをご紹介させていただき、お礼に代えさせていただきます。

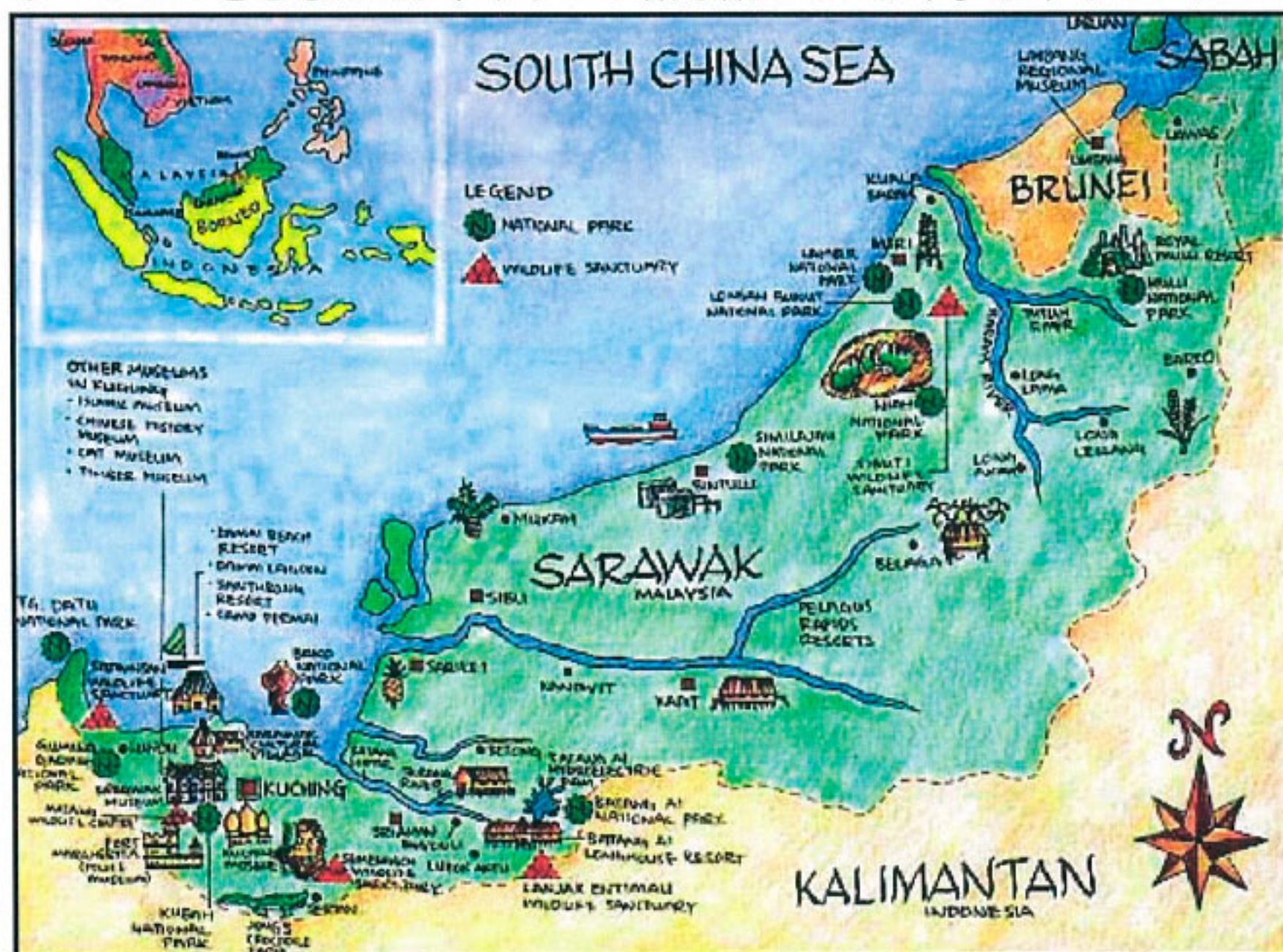
【ボルネオ島 サラワク州】

まず、私の職場であるサラワク州立図書館がどのような場所にあるかをご紹介いたします。マレーシアは、首都であるクアラ・ Lumpur のあるマレー半島と、私の住んでいるサラワク州そしてサバ州のあるボルネオ島の二つからなっています。以下に東南アジアの地図を載せましたが、緑色の部分がマレーシアです。拡大したものがマレーシアで最大の州、サラワク州です。

サラワク州の南西に赤い四角で「Kuching (クチン)」と書いてありますが、これがサラワク州の州都であり、私の住んでいる都市です。私は山形県出身で、大学入学と同時に宮城県の仙台市に引っ越しましたが、サラワク川を中心に緑と都会の雰囲気と同時に味わえるクチンの様子は、仙台を思い出させます。クアラ・ Lumpur には高層ビルが立ち並び、ツインタワー (左下写真) などの建物に圧倒されます。人々の働く様子も、東京となんら変わらないものが時々感じられます。一方で、ボルネオ島にはのんびりとした時間が流れ、日頃あくせく働いていた人にとっては大変リラックスできる雰囲気です。

また、マレー半島では、マレー系、中華系、タミル系 (インド系) が大半をしめますが、ボルネオ島には多数の先住民族がおり、文化が混在していることが大変魅力的です。サラワク州では、多種多様な民族がコミュニケーションをとるために、サラワク語を話しています。日本やクアラ・ Lumpur でマレー語

(マレー系マレーシア人が話す言葉) を学んで赴任した私には、当初彼らが何を話しているのか全く分かりませんでした。



【サラワク州立図書館での隊員の活動紹介】

さて、そのサラワク州クチンにあるサラワク州立図書館での私の日頃の活動をご紹介します。私は青少年活動という職種でサラワク州立図書館に派遣されています。図書館で地域の人々のためにイベントを開いて、図書館に足を運んでくれる人を増やすというのが私の活動の大きな目的の一つです。2015年の7月末から任地での活動を始めました。去年の活動は、子どものための日本文化を紹介するイベントが主で、リサイクルをテーマにしながらアクティビティを実施しました。具体的には古新聞紙での折り紙、キッチンから出るものを使っての草木染、ボタンや木の実を使ったおはじき遊び、買い物する際のプラスチック（ビニール袋）の削減につなげるための風呂敷ワークショップなどです。マレーシアの人たちは、アクティビティが大好きで、本を読むためというよりも、アクティビティに参加するために図書館に来る人がとても多いです。楽しいアクティビティに参加することで、新しいことを知ることや、新しい仲間に出会うこと、新しいことを考える楽しさに気づいてもらいたいと思ってイベントを企画しています。時には、マレーシア各地に派遣されている他のボランティアにも協力してもらって、イベントを実施することもあります。

《サラワク州立図書館の施設紹介写真》



白い壁と緑の屋根が、澄み渡るマレーシアの空によく似合います。広場では夕方になると毎日エアロビクスが行われ、大勢の市民が参加します。大きな池を眺めてリラックスしたり、ジョギング、サイクリングを楽しむ姿も見られます。



マレーシアの人は食べるのが大好きなので、10時の朝食、1時のランチ、夕方4時のティータイム、8時の夕飯、10時の夜食というように、一日5食食べることもあります。カフェで過ごす時間は、職場の仲間とおしゃべりをしながらコミュニケーションをとるマレーシア人にとっての和みの時間です。

マレーシアの人は携帯電話でセルフィー（自分の写真）を撮るのが大好きです。また、結婚式に向けて、様々な場所で沢山の写真を撮ります。図書館にあるガラスの階段や池は撮影スポットとして大変人気で、毎日のようにドレスをまとった花嫁花婿が写真撮影に来ています。

《サラワク州立図書館での隊員の活動紹介写真》

以下では写真を通して私の活動の一部をご紹介します。

①子どものための本の部屋には、マレー語や英語の本があります。



②アクティビティに参加するために名札に名前を書いて、新しい友だちの名前を覚えます。



③古新聞紙でのかぶと作りに集中しています。親も子どもの活動を観察しています。



④皆満足げな顔をしています。日頃から折り紙が好きで、私よりも器用な子どももいました。



⑤日本の遊びということでじゃんけんを列車をしました。超特急で走ります。マレーシアにもじゃんけん似た遊びがあります。



⑥図書館にあったカラフルなボタンをおはじき代わりに使って遊びました。単純なようで、頭を使う遊びです。息を吞んで見守ります。



⑦大学に出向いての風呂敷ワークショップ。日本について知っていることを共有した後、風呂敷のインパクトについて考えました。



⑧コミュニケーションを取るための授業の最終回に参加しました。学生たちは自分たちの考えを相手に伝わるように発表していました。



《サラワク州立図書館での職員の活動紹介写真》

サラワク州立図書館で行われている活動の一部をご紹介します。

①学校にストーリーテリングに出かけます。手前の黄・赤・黒の旗はサラワク州の州旗、奥の旗はマレーシア国旗です。



②ストーリーテリングを始める前に、歌を歌って体と心をほぐします。子どもの気持ちを惹きつけて、集中できるようにします。



③語り手が物語の世界に入り込んで演じると子どもたちも体を向けてじっくり聞き入ります。



④時には海外からゲストを招いて本を読む楽しさを伝えるイベントも行います。



【寄贈していただいた物品の活用について】

これまでお伝えしてきたように、サラワク州立図書館は、図書館に人を呼び込むだけでなく、地域に自ら出向いてアクティビティをする機会を大切にしています。これは、サラワク州がマレーシアで最大の面積を持つ州で多くの民族を有することで、奥地にも沢山の人が住んでいること、必ずしも交通の便がよい訳ではないので図書館にこられる人が限られてしまうことなどが理由です。サラワク州立図書館は、市民が集まってきたり、市民に近づいていったりすることで、知識を求め人、アクティビティを楽しみたい人、リラックスしたい人たちが自由に交流をするための大切な場所です。

このような役割を持つサラワク州立図書館は、地域の学校ともつながりを持っています。図書館を見学したいという要望があれば団体での見学も受け入れますし、幼稚園の子どもたちが楽しめるアクティビティを提供したりもしています。それに加え、現在私がボランティアとして働いていることを契機に、日本語の授業やクラブ活動を行なっている学校と継続したプログラムを実施することになりました。現在は、クチンで日本語クラブをもつ3つの学校と連携して、日本文化に親しみながら日本語を学び、最終的には自分たちが学んだことを発表する「NIHON MATSURI」というイベントを実施しようと計画しています。実際の活動はこれから行なわれますので、今回は協力して活動する先生、生徒たちに物品を渡している様子をご紹介します。また、図書館訪問にきた幼稚園の子どもたちと図書館スタッフが浴衣と甚平を着ている様子も合わせてご覧ください。

①クチンの日本語クラブを有する3校の先生方とアクティビティの話し合い。

②Japanの「J」のポーズ!皆さん日本語を流暢に話されます。



③Sekolah Menengah Sains Kuching (クチン科学中学校)の一年生と、何に使う道具かを当てるゲームをしました。ひらがなカタカナをもう学んだので、紙芝居も自分たちで読めます。



④マレーシア国旗の下にあるアニメの画像は、子どもたちに人気の「ウッピン・イッピン」です。私が日本に帰ったら、マレーシアで体験したことを日本の子どもたちと共有することが私の夢だよと伝えると嬉しそうに聞いてくれました。そして、いただいた品物への感謝の気持ち表すために、学んだばかりの日本語で心をこめてメッセージを書いてくれました。日本人に対してメッセージを書くことに興味を持ってくれ、たくさん質問をしてくれました。



⑤下の写真は、図書館に来た幼稚園の子どもたちとの交流会です。甚平と浴衣を着た子どもが前に出てきて踊ります。他の子どもたちも元気いっぱい歌って踊っておおはしゃぎです。



⑥サラワク州立図書館と地域の方々の交流のために品物をご提供くださりありがとうございました。サラワク州立図書館は地域の方に開かれた図書館ですので、今後いただいた品物は学校関係者以外にも様々な方にご利用いただけたらと思います。サラワク州立図書館職員一堂、また、これらの品物を手に取ったマレーシア人たちからの、心からの感謝をお伝えいたします。どうもありがとうございました。



サラワク州立図書館
のスタッフと



クチン科学中学校
(SainsKU) の一年生
たち



アブディラ中学校 (Kolej
DPAH Abdillah) の一年生
たち